

平成14年5月28日

平成14年3月期 決算の概要について

シロキ工業株式会社

(輸送用機器 東証、名証第一部上場)

(*百万円未満以下切り捨ててあります)

1、連結：

[4極を視野に国内と海外に子会社新設]

連結の決算概要につきましてご説明させていただきます。3月31日現在の当社の連結子会社は国内6社、海外5社の11社で、昨年に対して1社増加となりました。九州地区での受注拡大に対応するとともに国内生産拠点の最適化をはかるため九州シロキ(北九州市・本年7月操業開始予定)を昨年の8月に設立し、また世界4極市場対応を視野にアジアでの生産・供給体制を整えるためシロキタイランド(タイ国・本年12月操業開始予定)を今年の1月に設立したものです。また一方でグループ経営の効率化を進めるため子会社の事業を見直し、昨年5月にシロキサービスをシロキ商事に吸収合併いたしました。したがって2社が増え1社が減った結果、当社の連結対象子会社は11社となっております。

[選択と集中で減収、自動車部品分野は2.2%増]

売上高は、997億6700万円で、前期比3.4%の減収となりました。これは、アメリカの生産子会社SWマニュファクチャリングで15億6900万円の増収となり、主力の自動車部品分野は938億4400万円(前期比2.2%増)と堅調に推移いたしました。しかしながら一方で、グループ経営の効率化を進めるべく事業の選択と集中により子会社の事業を見直し、前期に子会社の清算および不採算部門から撤退したことにより非自動車部品分野は59億2300万円と大きく減収いたしました。

[合理化などで利益堅調、経常利益は増益]

しかしながら利益につきましては、減収にもかかわらずグループ各社の徹底した合理化と原価改善活動、シロキ工業の増益などによりまして、営業利益は31億7300万円(前期比0.4%減)とほぼ前年実績を確保することが

連結(上段当期、下段前期)

売上高：
997億6700万円
1032億2800万円
(前期比3.4%減)
営業利益：
31億7300万円
31億8500万円
(前期比0.4%減)
経常利益：
34億2000万円
30億8500万円
(前期比10.8%増)
当期純利益：
16億7100万円
29億8100万円

自動車部品分野

売上高：
938億4400万円
918億6800万円
営業利益：
38億6100万円
32億2700万円
(セグメントの消去前)

非自動車部品分野

売上高：
59億2300万円
113億6000万円
営業利益：
3億300万円
4200万円
(セグメントの消去前)

自動車部品：非自動車部品

売上高比率
94%：6%
89%：11%

海外売上高比率
16.3%
14.2%

設備投資

51億2200万円(予想)
56億6700万円(当期)
46億1500万円(前期)

減価償却費

58億3200万円(予想)
53億8300万円(当期)
52億4100万円(前期)

できました。経常利益につきましては円安によるSWMマニユファクチャリングの為替差益などがあり、34億2000万円（前期比10.8%増）と、前年実績を上回ることができました。

[当期純利益は16億7千1百万円]

最終損益につきましては、東京デポの土地売却による固定資産売却益等で12億7800万円ありましたが、固定資産除却損等により特別損失25億2100万円を計上いたしました。この結果、当期純利益は16億7100万円となりました

2、単独：

[営業利益は4期、経常利益は3期連続で増益]

単独につきましては、厳しい経営環境のなかで拡販に努め、売上高はトヨタ自動車、スズキ向けが堅調に推移したものの三菱自動車工業むけが大幅に減少したため、前年に対しわずかに1億7千万円とどかず、81.8億8200万円、前期比0.2%の減収となりました。しかしながら利益につきましては、全社をあげた業務改革と収支改善活動に取り組んだ結果、主として材料費と経費が低減し、退職給付費用が前期比で4億9200万円増加したものの、営業利益は前期比で1億1400万円増加し、22億2000万円（前期比5.4%増）をあげることができ、4期連続で前年実績を上回ることとなりました。また経常利益につきましても20億8000万円（前期比4.1%増）となり、3期連続で前年実績を上回ることとなりました。

[当期純利益は6億8千3百万円]

最終損益につきましては、東京デポの土地売却による固定資産売却益で12億7200万円ありましたが、財務体質強化のため固定資産除却損として8億9700万円、退職給付費用として6億6千万円などにより特別損失21億7900万円を計上いたしました。この結果、当期純利益は6億8300万円となりました。

単独（上段当期、下段前期）

売上高：

81.8億8200万円

82.0億5200万円

（前期比0.2%減）

営業利益：

22億2000万円

21億5000万円

（前期比5.4%増）

*退職給付費用前期比

4億9200万円増加

経常利益：

20億8000万円

19億9800万円

（前期比4.1%増）

特別利益：

12億7200万円

・東京デポ土地売却益

特別損失：

21億7900万円

・固定資産除却損

（8億9700万円）

・退職給付費用

（6億6000万円）

(*会計基準移行時差異

5年均等費用処理分)

当期純利益：

6億8300万円

34億7000万円

得意先について

（上段当期、下段前期）

・トヨタ系（66.4%）

54.3億7300万円

53.2億5600万円

（2.1%増）

・売上高上位3社

トヨタ自動車（41.5%）

33.9億9300万円

33.4億5000万円

（1.8%増）

スズキ（12.8%）

10.4億6300万円

9.7億7700万円

（7.0%増）

三菱自動車工業（8.4%）

6.8億6400万円

9.3億4700万円

（26.6%減）

* 社名横の（）内は

売上構成比率

[期末利益配当金は4円に]

期末利益配当金につきましては、依然厳しい経営環境が予想されるところから期末利益配当金を3円といたしておりました。しかしながら全社をあげて取り組んだ業務改革と収支改善活動により、予想を上回る利益をあげることができましたため、株主様への利益還元ならびに事業環境、中長期的な企業体質の強化などを総合的に勘案いたし、前期末配当と同様4円として安定配当に努めることといたしました。（4月24日に配当予想の修正発表をいたしました。）

3、14年3月期の取り組み実績：

弊社では中期経営計画（01～05）を本年1月に見直し、これに沿って経営の効率化と企業体質の強化を一段と進めております。特に世界4極市場への対応のためグローバル化を強力に推進し、世界競争勝ち残りを図るべく取り組みを展開しております。現在までに実施した主な取り組みは次の通りであります。

1、攻める：技術開発・営業活動強化により売上拡大

国内展開

九州シロキの設立（昨年8月）

- ・九州地区での受注拡大への対応と国内生産拠点の最適化を推進

海外展開

SWMジョージア（米国）でドアサッシの生産（1月）

- ・北米での主要製品拡大と拡販推進

シロキタイランド（タイ）の設立（1月）

- ・アジアでの生産・供給体制を整備し、世界4極市場対応を加速

シロキ・ブローゼの設立（2月）

- ・世界4極市場対応を視野に、ブローゼ（独国）と合併会社を設立し協業を加速

2、守る：借入金を減らし財務体質を強化する

固定費削減

借入金の削減

238億円（前期末） 209億円（当期末）

資産売却

固定資産売却

東京デポ土地売却

主要製品について

シートリクライナ・	
シートアジャスタ（32.5%）	265億9800万円
	258億2700万円
	（3.0%増）
ウインドレギュレータ	
	（27.4%）
	224億4000万円
	227億7900万円
	（1.6%減）
ドアサッシ（19.8%）	
	162億5900万円
	162億7600万円
	（0.1%減）

* 製品名横の（ ）内は
売上構成比率

設備投資

33億2600万円（予想）
37億1300万円（当期）
36億3300万円（前期）

減価償却費

49億8900万円（予想）
47億9100万円（当期）
45億2900万円（前期）

改善活動の成果

18億5200万円

費目	百万円
売上高	321
材料費	942
労務費	275
経費	114
工販管費	174
本販管費	26
合計	1,852

4、連結業績予想：

[増収増益を予想]

今期の連結の業績予想につきまして、売上高は通期で1030億円、前年実績に対し32億3300万円増を予想しております。これは主にアメリカの生産拠点であるSWMジョージアで今年1月より新たにドアサッシの生産を開始したことによる売上増を見込んでいるからです。営業利益につきましては、通期38億円と、前年実績に対して6億2700万円増加し、また経常利益も通期35億円で前年に対し8000万円増加するものと予想しております。最終損益は17億円の当期純利益を予想しております。

5、単独業績予想

[営業利益は5期、経常利益は4期連続増益を予想]

単独の業績予想につきましては、小型乗用車、軽自動車、ミニバンなどを中心に市場の活性化が予想されますものの、景気低迷による消費者心理の冷え込みから、本格的な市場回復には未だ時間がかかるものと予想されます。通期売上高予想は808億3300万円と硬く予想し、前年実績に対しわずかながらの減収を予想しております。当社といたしましてはこれを最低目標としてこれを上回るよう努力をしております。通期の営業利益につきましては、24億8700万円と前期比2億6700万円増（前期比12.0%増）を予想しております。また通期の経常利益につきましても23億8700万円と前年比3億600万円増（前期比14.7%増）を予想しています。最終損益は7億7700万円と前期比9300万円増（前期比13.6%増）の当期純利益を予想しております。

6、15年3月期の主な取り組み：

- 九州シロキの操業開始 (本年 7月)
- シロキタイランドの操業開始 (本年12月)
- 利益体質への転換と定着化
：設備投資の効率化、借入金の削減

15年3月期予想 連結（上段予想、下段前期実績）

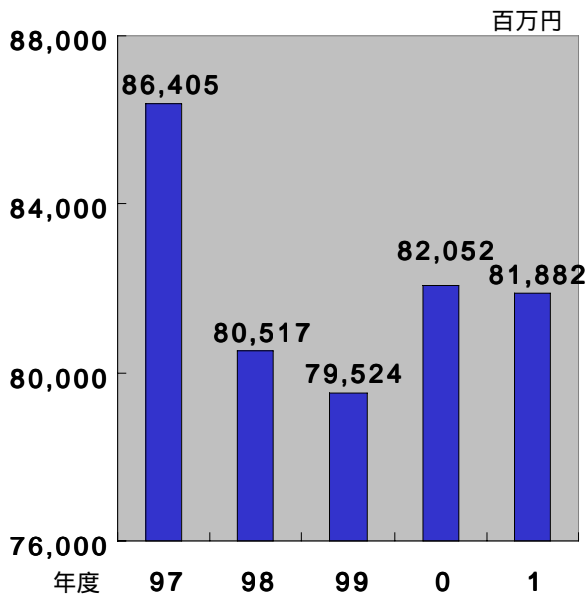
売上高	1030億円 997億6700万円 (前期比3.2%増)
営業利益	38億円 31億7300万円 (前期比19.8%増)
経常利益	35億円 34億2000万円 (前期比2.3%増)
当期純利益	17億円 16億7100万円 (前期比1.7%増)

単独（上段予想、下段前期実績）

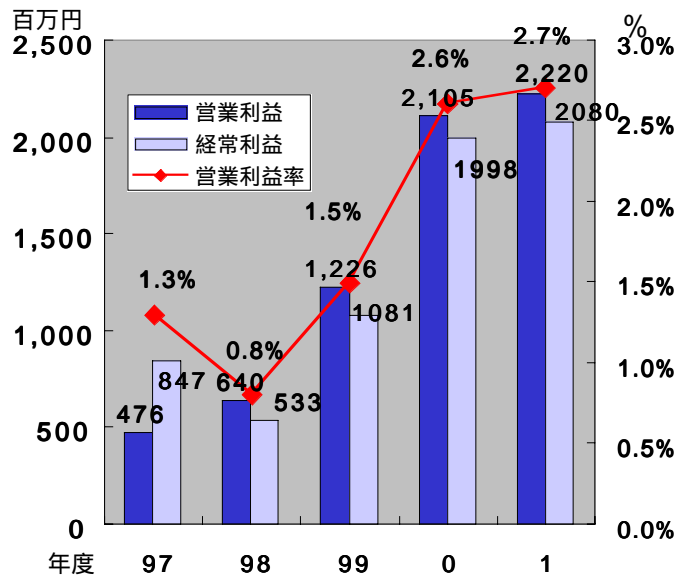
売上高	808億3300万円 818億8200万円 (前期比1.3%減)
営業利益	24億8700万円 22億2000万円 (前期比12.0%増)
経常利益	23億8700万円 20億8000万円 (前期比14.7%増)
当期純利益	7億7700万円 6億8300万円 (前期比13.6%増)

ご参考

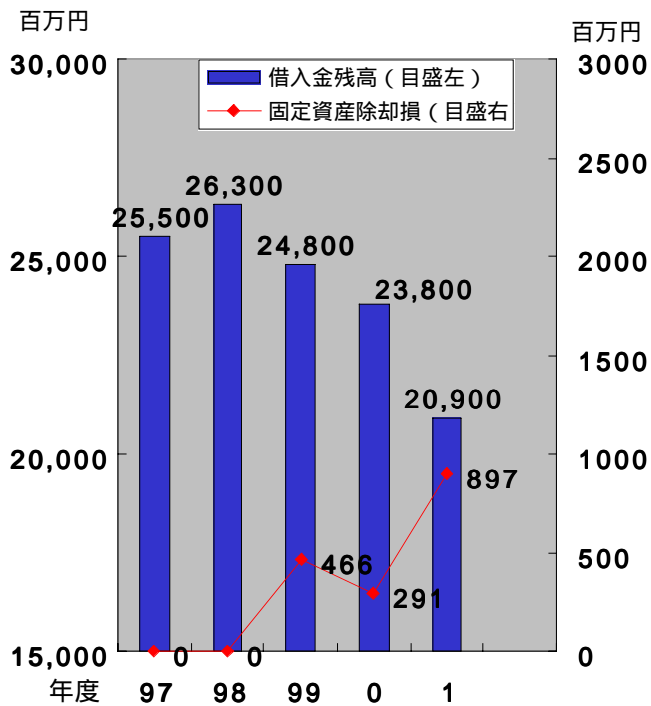
売上高推移



利益推移



財務体質の強化



この件のお問い合わせは：

シロキ工業株式会社 (0533) 84-4691

取締役経理部長

永石 浩

総務部広報担当

眞野成人